

## 目 次

第 37 回日本基礎老化学会シンポジウム	
プログラム・発表抄録	1
総説	
認知症におけるタウタンパク質 (tau protein) の役割	
謝 策、宮坂 知宏	13-22
トピックス	
アルツハイマー病態におけるエンドサイトーシス障害の重要性	
木村 展之	23-27
トピックス	
アルツハイマー病様神経毒性におけるアミロイド $\beta$ コンホマーの役割	
泉尾 直孝、村上 一馬、久米 利明、前田 雅弘、入江 一浩、清水 孝彦	29-34
トピックス	
肥満症脂肪組織におけるリソソーム機能障害とオートファジーに与える影響	
水之江 雄平、須藤 結香、平岡 秀規、沖田 直之、樋上 賀一	35-38
トピックス	
運動によるインスリン抵抗性の改善に關与する新たな分子メカニズム	
都築 孝允、篠崎 昇平、金木 正夫、内藤 久士	39-42
研究報告	
アミロイド $\beta$ タンパク修飾による細胞死抑制—コマツナ種子由来成分からのアプローチ—	
岡田 瑞恵、岡田 悦政	43-48
対談	
細胞から個体老化への介入；その挑戦と限界	
三井 洋司、本山 昇、杉本 昌隆、後藤 佐多良	49-55
大会報告	
第 38 回日本基礎老化学会大会を開催して	
遠藤 玉夫	57-58
大会見聞録	
第 38 回日本基礎老化学会に参加して	
柿澤 昌	59
留学体験記	
NIH での研究生活	
川岸 裕幸	61-62
学会報告	
第 29 回日本老年学会総会合同ポスターセッション優秀演題賞受賞	
清水 孝彦、渡辺 信博	63-64
専門書紹介	
「老化生物学：老いと寿命のメカニズム」	
近藤 祥司	65
附	
基礎老化学会サーキュラー 第 103 号	

---

表紙：タウ isoforms の分子構造 (13-22 ページの総説を参照)。